

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	障害者講座事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	420301	決算付属資料	234	頁
	施策体系	施策コード	050402	施策名	自立と社会参加を促進する									
	開始年度	昭和52年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	知的障害者、視覚障害者及び聴覚障害者など、障害のある人が生涯を通して教育や文化、スポーツなどに親しみ、仲間とともいきいきとした生活と、自らが進んで社会参加できるような学習と交流の場を提供している。 障害のある人が、互いに悩みや希望を語り合い、明日への活力を得るための機会となっている。									
	対象者	知的障害者、視覚障害者、聴覚障害者	対象者数	130	単位あたりコスト	16.8					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(バス運転代行)									
	事業概要	● 工作体験、スポーツ体験、宿泊体験、調理体験、施設見学、他市交流など各種講座を実施 障害者青年学級 11回/年、参加者：各回10~30人 視覚障害者成人講座 4回/年、参加者：各回10人~15人 聴覚障害者成人講座 4回/年、参加者：各回10人程度 ● 平成27年度より、「障害者青年学級事業」と「障害者成人講座事業」を統合。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		報償費	講座講師・指導者等謝礼							113	
旅費		宿泊体験、視察学習職員、指導者旅費							40		
需用費		文集印刷製本、物品購入(ブラカード用板、棒、画用紙等)、燃料費等							44		
役務費		郵送料、保険料等							3		
委託料、使用料及び賃借料	バス運転代行料29、施設使用料、高速道路通行料19							48			
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	451	386	366	358	207
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 56	△ 39	△ 97		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0			
	次年度繰越		0	0		
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	395	347	269	358	207
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.29/0	0.28 / 0	0.24 / 0	0.24 / 0		
⑤概算人件費	2,320	2,240	1,920	1,920		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,715	2,587	2,189	2,278		
⑦執行額	373	250	248			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	94.4%	72.0%	92.2%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		延べ参加人数	人	360/350	314 /350	302/350	/300	300	
	出席者/教室・講座登録者	人	61/60	60/60	70/60	/65	65		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
			講座開催数	回	19/19	18/19	19/19	/18	18
			単位あたりコスト		20.8	19.3	13.1		
					/	/	/	/	
	単位あたりコスト								

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・知的障害者、視覚障害者及び聴覚障害者が社会参加の場を拡大することになることから、市が取り組む必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・各種講座については、年度当初に対象者と一緒に計画し講座内容を充実するよう実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・活動実績は概ね達成している状況であり、成果実績についても約98%の達成率となっている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害を持つ市民に生涯学習の場を提供するとともに、社会参加を進めるきっかけ作り、手段の一つとして大きな役割を果たしている。</li> <li>●講座計画、内容については参加者の意見を聞きながら毎年充実を図っている。</li> <li>●成果実績としては、ほぼ100%の達成率となっており、目的を十分に達成できていることは評価できる。</li> <li>●青年学級：定期的、計画的な教室(講座)事業実施により、知的障害者の社会参加の契機を提供でき、明日への意欲と希望を見出す機会となっている。また、事業を通じて仲間との交流にもなっている</li> <li>●視覚・聴覚障害者：視覚、聴覚・言語に障害がある人に対し、様々な講座を通して学習の機会を提供し、互いに希望を見つけ、明日への活力を得るための機会となっている。</li> </ul>	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>●視覚障害者：聴覚障害者への講座については、社会福祉課主幹事業との重複を避けるなど社会福祉課との連携が必要である。</li> <li>●青年学級：在籍者に比して、仕事や家庭の事情等で、参加できるメンバーに偏りがある。</li> <li>●視覚・聴覚障害者：参加者が、視覚及び聴覚障害者協会の会員が主体となっており、協会会員以外の参加促進等の手法等を考える必要がある。</li> <li>●聴覚障害者講座：中丹の研修会と管内研修を同一日とすることにより参加者の負担軽減を図るとともに、経費の削減を行なう。</li> </ul>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>■市障害者担当部署に対象事業の聞き取りを行うが、障害者を支援する立場の市民への講座がメインであり、本講座のように障害者自身が参加し、社会参加を進めるきっかけとなる事業及び取組がほほないことがわかった。そこで、講座回数の見直しを行い、内容の充実とより参加しやすい形態を考え、引き続き事業を実施するための予算を計上することとする。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 障害者福祉課												
	作成責任者	高橋 千寿子												
	事業名	地域生活支援事業(社会参加促進事業)												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉支援費	会計	一般会計	事業コード	420357	決算付属資料	118・120	頁
	施策体系	施策コード	050402	施策名	自立と社会参加を促進する									
	開始年度	平成18年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市障害者計画、第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画												
	根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的(あるべき姿)	障害のある人が、さまざまな事業や活動を通し、社会参加の促進や交流を図る。										
	対象者	障害のある人	対象者数	4,832	単位あたりコスト	0.8						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社										
	事業概要	障害のある人等の体力増強、交流、余暇等、また、障害のある人等がスポーツに触れる機会を提供するため、各種レクリエーション教室や大会・運動会などを開催し、障害者等が社会参加活動を行うための環境の整備や必要な支援を行う。										
	主な経費と具体的内容(N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		報償費	デイサービス事業の各種講座に係る講師謝礼等							219		
需用費		デイサービス事業の各種講座に係る消耗品等							72			
委託料		体験事業実施に係る運転代行委託等							51			
使用料及び賃借料		体験事業実施に係るバス借上料等							368			
旅費・負担金補助及び交付金		体験事業旅費・障害者団体バス借上補助金、ふれあい福祉フェスタ交付金等							1,155			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	1,872	2,613	2,371	3,204	2,798			
	②補正予算	0	205	0					
	③流用額	0		0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越		0	0		0				
	次年度繰越		0	0		0			
予算と執行の状況	一般財源	468	859	594	801	699			
	国支出金	936	1,306	1,185	1,602	1,399			
	府支出金	468	653	592	801	700			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他特財	0	0	0	0	0			
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	地域生活支援事業補助金	種類	国庫補助金	実績金額	472	決算付属資料	16	頁
	特財名称	地域生活支援事業補助金	種類	府補助金	実績金額	236	決算付属資料	24	頁
人件費	0.55/0	0.47 / 0	0.19 / 0	0.19 / 0					
⑤概算人件費	4,400	3,760	1,520	1,520					
⑥総事業費(①+②+③+④+⑤)	6,272	6,578	3,891	4,724					
⑦執行額	1,450	2,193	1,864						
執行率(⑦/(①+②+③+④)×100)	77.5%	77.8%	78.6%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
			成果実績(アウトカム)実績/当初目標	在宅デイサービス実施回数	回	15/16	15/16	15/16
	ふれあい大運動会参加者数	人	435/500	440/500	412/500	/ 500	500	
活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
			在宅デイサービス参加者数	人	157/155	151/155	177/155	/ 155
		単位あたりコスト		9.2	14.5	10.5		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	障害のある人の社会参加の契機として必要性の高い事業だが、中には行政でなくても実施可能な事業もある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	活動資金の補助により、障害のある人の社会参加と自立のため安定した活動を行なっている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	障害のある人の社会参加の契機となりうる事業である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			外出の機会が少なくなりがちな障害のある人の社会参加の機会となり、障害や障害のある人に対する市民の理解を深める機会としても、重要な役割を果たす事業である。
今後の課題及び方向性			参加者が固定化することがないよう、より広範囲への周知をはかる必要がある。

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・参加者の増加につなげるため、今後も他事業との共催を検討しながら実施する。 ・「ふれあい大運動会」の交付金については、補助金等の見直しに基づき、実行委員会等において、事務局を外部に移行できないか検討したが困難であったため、令和2年度から市直営事業として実施する。 ・重度障害者移動用リフト付自動車運行事業補助金については、令和元年度より廃止した。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】